

お元気ですか

つかじさちの

メール便

第832号



日本共産党高知県議会活動報告

2017年3月12日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)
088-843-9281 (自宅)

県議会 米田議員の代表質問より

「学び直し」に支援を

高知県議会 米田氏求める

日本共産党の米田議員は2月28日の県議会代表質問で、私立太平洋学園高校（高知市）が託児室を設置し、妊娠・出産した高校生の学び直しを支援しようとしていることへの県の支援を求めました。

私立で県内唯一の定時制・通信制課程がある同校は、不登校や発達障害の生徒を受け入れ、学び直しの機会を提供。託児室を設置し、妊娠・出産した生徒を支援しようとしています。

米田議員は、託児室の設置について「生徒たちの学習権、教育を受ける権利を保障するための教育環境整備であり、貧困の連鎖を教育の力で断ち切る貴重なツールの一つになる」と強調し、支援を求めました。

岡崎順子文化生活部長は私立学校の学力や教育環境の向上を目的とした県単独補助金の活用が「可能であると考えている」と答えました。

米田議員は昨年12月に米海兵隊の戦闘機・

FA18が高知県沖に同じくオスプレイが沖縄県名護市沿岸に相次いで墜落した問題を取り上げ、「オレンジルト（四国上空など）での訓練の再開は許されない」とたじろました。尾崎正直知事は外務・防衛両省にオレンジルト下での訓練の中止を要請したとのべ、「その姿勢が変わりはない」と答えました。



質問前に県議団で 大太平洋学園にて 要望聞きとり調査

ひとりひとりの子どもたちに寄り添った教育と、と質問時制・通信制も実施している大太平洋学園に訪問。光岡校長先生から、豊かな教育実践のお話を伺い、要望もお聞きしました。現在、36人の生徒さんが学んでいます。そのクオリティが小・中学校時代に不登校を経験した学びなおしへの場として大きな役割を果たしています。

ねるがも日記

No.830

私も本会議での一問一答形式の質問に立ち、教員採用制度の透明性の確保や臨時教員の採用問題について田村教育長に改善を求めました。納得のいく回答は得られませんでした。他会派の県議から「教育委員会の問題点は、よくわかった」との声をかけていただきます。またまた緊張の日々です。



ビキニ被災の真相に迫る 32名の証言集と出版

60年間、歴史から消えていた被災船員の真相が語られています。ご一読!

3月11日より書店で販売 1,000円です。

本会議での質問戦が終り、明日からは各常任委員会での議案審査に入ります。